

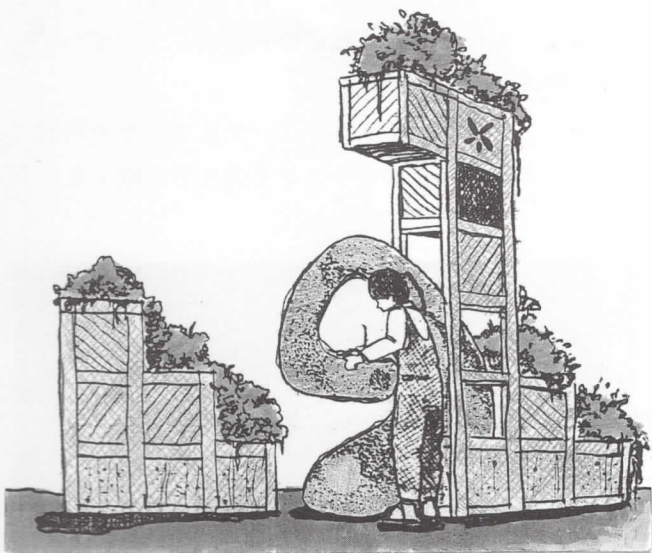
2-8 その他

●ゴミ箱 灰皿

街路のゴミ処理用具は、保守管理、特にゴミ回収システムが十分でないため、かえって不快な環境をつくってしまっている。ゴミ回収システムが完備すれば、ストリートファニチャーに組み込んだゴミ箱・灰皿（ストリートファニチャーの項参照）等は、利用者のモラルに訴えかけ、よりよい環境を生み出す。

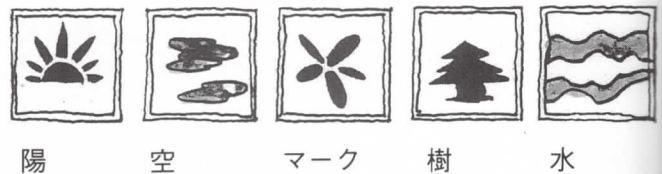
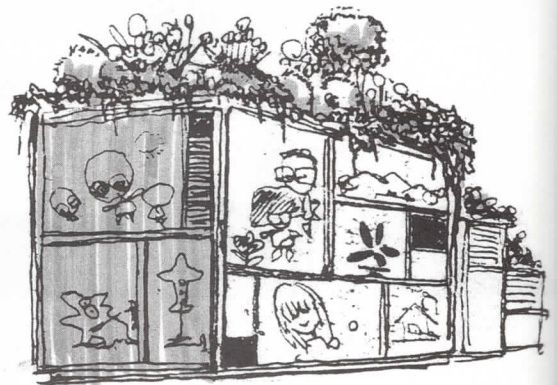
●水飲み場

街の水飲み場は、公園等を除いて街路での設置例は少ない。しかし、元来、水場は人間にとって精神的にも肉体的にも、必要なものであり、コミュニティーを形成する媒体として大きな機能をもっていた。設置にあたっては、飲食店等の商売上の影響を留意した上で、人の留まりとなる場所（広場、バス停等）を選ぶ。



●変圧器

変圧器等の都市の維持管理をつかさどる諸設備は、デザイン面の開発が遅れ、機能をみただけのものが多く、異質なものとして景観に問題が多い。メンテナンスの妨げにならない様に、全体をパネルで囲い、街のシンボルやイメージイラスト又は、子供の絵等をかざり、楽しいファニチャーとして生まれ変わらせた。



●公衆トイレ

一般的に便所は汚いものであり、見えないところに設置した方がいいという先入観があり、隠れた場所に設置され、一層汚らしいものとなっている。（4K 汚い、臭い、怖い、暗い）むしろ、日の当る施設として考え、明るく、高級なイメージの施設を設置し、ランドマークになる様な建物であってもよいと思われる。又、有料化することにより、モラルの向上をもとめたい。

日除け計画

1. 基本的機能

風や、強い日差しを防ぎ、快適に歩ける環境を構成するシェルター。

2. 日除けデザイン



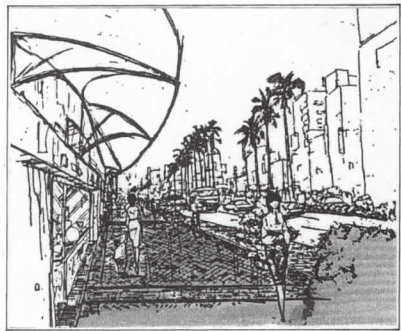
A. 統一デザイン

全てを統一デザインとすると、街のまとまりができるが、個店のファサードの表現を殺してしまう弱点がある。(一丁目商店街においては、相当な長さにおいて庇のない箇所があり、まとまりを表現するエネルギーは小さい。)



B. 個店の独自性

個店においては、業種にふさわしい自由な形状と、独特なファサードの表現が可能であるが、橋通全体で見た時のまとまりには欠けるものがある。



C. 一定のルールによる展開

商店街により色や形態のゆるやかな統一ルールをつくり、A、B案の矛盾をカバーする。各店の個性を生かしながら、街のまとまりをつくり、節度ある変化が生まれる。

2. 視覚的役割

商品構成のイメージによる、店の顔であるファサードの一部。

商店街の通りの中での一つの景観パーツ。